

| | | | |
|---|--------------|----------------------------|-------------|
| 既存のナシ用二段果樹棚を利用したサル害防止技術 | | | |
| [要約] 既存のナシ用二段果樹棚を利用し、防獣ネットと防鳥ネットで果樹園を覆うと、安い経費でサルの被害を防ぐことができる。 | | | |
| 農業試験場・花き・果樹分場・果樹担当 | | [実施期間] 平成 14 年度～平成 15 年度 | |
| [部会] 農産 | [分野] 多面的機能 | [予算区分] 国庫 | [成果分類] 指導 |

[背景・ねらい]

本県の中山間地ではサルによる農作物被害が深刻である。電気柵などの専用防護柵は、効果が高いが設置経費や労力が大きい。一方、ナシ用二段果樹棚で一般的に用いられる防鳥防蛾ネット（図 2）は、鳥、虫対策に効果があるが、サルは防鳥防蛾ネットのすそ部や天井部すき間から侵入する。

そこで、既存のナシ用二段果樹棚を利用しサルの侵入を防止できる、設置が容易で安価な防護柵を考案し、その効果を確認する。

[成果の内容・特徴]

既存のナシ用二段果樹棚ワイヤー（位置：天面外周部）を利用して、おもにシカ対策に用いられる市販防獣ネットを側面に、防鳥ネットを天面に取り付けて果樹園を覆うとサルの侵入を防げ、ナシの被害を防ぐことができる（図 1、3 および表 1）。

この設備をほ場面積 7 a、外周 108 m のナシ園に設置した場合、材料費は 11.5 万円（m あたり 1,065 円）設置時間は約 42 時間である。

[成果の活用面・留意点]

本技術はナシ用二段果樹棚の利用を前提としている。

防獣ネット裾は標識ロープとペグを用い地面に固定する。防鳥ネット裾はポリエチレンひもで防獣ネットに綴りつける。

設置期間中サルは 3 回出没し、ネット上およびほ場外周を歩き回り侵入場所を探す様子であった。

本試験に用いた側面用防獣ネットは、20 × 25 mm 目、糸の太さ 1,100 デニール 3 本ラッセル編み、天面用防鳥ネットは、30 mm 目 1,000 デニール単糸編みである。

果樹園の形状により経費や設置時間は異なる。

[具体的データ]

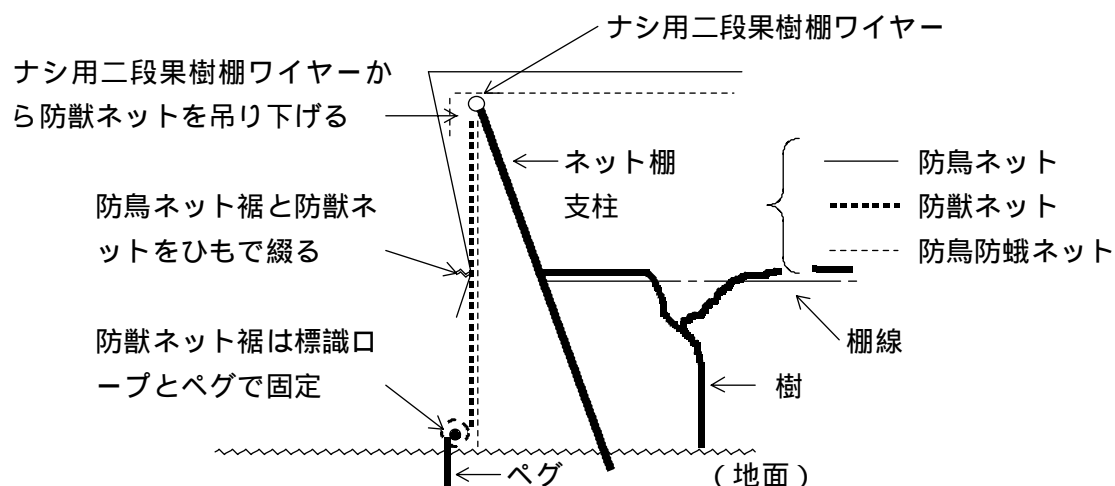


図1 ナシ用二段果樹棚を用いたサル防護柵の構造（側面図）



図2 防鳥防蛾ネットを被覆したナシ園



図3 左図側面に防獣ネットと天面に防鳥ネットを被覆

表1 サルの出没状況

| 出没月日 | 時間 | 出没頭数 ^{*1} | 侵入被害の有無 | 備考（サルの行動） |
|-------|---------------|--------------------|---------|------------------|
| 7月21日 | 9:00 ~ 9:52 | 4 | なし | 天面ネット上、ほ場外周を歩き回る |
| 7月21日 | 12:43 ~ 12:50 | 1 | なし | 天面ネット上を歩き回る |
| 7月28日 | 12:49 ~ 13:09 | 4 | なし | 天面ネット上、ほ場外周を歩き回る |

調査期間：2003年7月16日～10月3日（ナシ収穫約3週間前～収穫終了後まで）

*1 監視カメラ映像により確認

[その他]

・研究課題名

大課題名：農林水産業の持つ多面的機能の評価および増進に関する研究開発

中課題名：心やすらぐ田園空間の創造と多面的機能の発揮に関する研究開発

小課題名：獣害多発地域における農作物被害防止技術の確立

・研究担当者名 古山竜二、大谷博実（H14～15）

・その他特記事項

平成7年要請課題「イノシシ、サルによる獣害防止対策」湖西地域振興局

平成8年要請課題「猿害防止技術の開発」湖北地域振興局